

小さいうち (2013)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 136分

初公開日 2014/01/25

公開情報 松竹

映倫 G

【キャッチコピー】

あの小さな家に閉じ込めた、私の秘密

【解説】

中島京子の第143回直木賞受賞作を「男はつらいよ」シリーズ、「東京家族」の名匠・山田洋次監督が映画化した感動ドラマ。日本が泥沼の戦争へと向かっていく昭和初期の東京を舞台に、赤い三角屋根のモダンで小さな家に女中奉公することになった若い娘タキによって語られる庶民の暮らしぶりと美しい女主人・時子の秘めたる禁断の恋の行方を、リアルな時代風俗描写とともにミステリアスに綴る。出演は時子役に松たか子、女中タキ役に黒木華、現代のタキ役に倍賞千恵子。その他の共演に片岡孝太郎、吉岡秀隆、妻夫木聡。

大学生の健史は、亡くなった大祖母・布宮タキから彼女が遺した自叙伝を託される。そこには、健史が知らない戦前の人々の暮らしと若かりしタキが女中として働いた家族の小さな秘密が綴られていた――。昭和初期、山形から東京へと女中奉公に出たタキは、小説家の屋敷に1年仕えた後、東京郊外の平井家に奉公することに。その家は、赤い三角屋根が目を引き小さくもモダンな文化住宅。そこに、玩具会社の重役・雅樹とその若い妻・時子、そして幼い一人息子の恭一が暮らしていた。3人ともタキに良くしてくれ、タキはそんな平井家のためにと女中仕事に精を出し、とりわけ美しくお洒落な時子に尽くすことに喜びを感じていく。ある年の正月。平井家に集った雅樹の部下たちの中に、周囲から浮いた存在の青年・板倉正治がいた。美術学校出身の心優しい板倉に恭一がすぐに懐き、時子も妙にウマが合って急速に距離を縮めていくが…。

【クレジット】

監督	山田洋次
製作	大角正
製作代表	大谷信義
	中村邦晴
	平城隆司
	小林昭夫
	井田寛
	吉川英作
	矢内廣
	松田陽三
	富木田道臣
	黒崎等
	宮本直人
	山本晋也

	浅井賢二	
	樋泉実	
製作総指揮	古田栄昭	
プロデューサー	迫本淳一	
	深澤宏	
	斉藤寛之	
原作	中島京子	『小さいうち』 (文藝春秋刊)
脚本	山田洋次	
	平松恵美子	
撮影	近森真史	
美術	出川三男	
	須江大輔	
衣裳	松田和夫	
編集	石井巖	
音楽	久石譲	Joe Hisaishi
音楽プロデューサー	小野寺重之	
照明	渡邊孝一	
録音	岸田和美	
装飾	湯澤幸夫	
記録	鈴木敏夫	
VFXプロデューサー	浅野秀二	
VFXディレクター	鹿住朗生	
絵画監修	藪野健	
出演	松たか子	平井時子
	黒木華	布宮タキ
	橋爪功	小中先生
	吉行和子	小中夫人
	室井滋	貞子
	中嶋朋子	松岡睦子
	あき竹城	カネ
	松金よね子	花輪の叔母
	笹野高史	花輪和夫
	ラサール石井	Lasarl Ishii
	林家正蔵	柳社長
	四家卯大	治療師
	柴草玲	
	片岡功	
	高間智子	
	岡本茉莉	
	鈴木翼	
	桜咲拓弥	
	浅野加寿希	
	村岡ミヨ	
	関時男	

加藤満
北山雅康
市川福太郎
秋山聡
螢雪次郎
片岡孝太郎
吉岡秀隆
妻夫木聡
木村文乃
夏川結衣
米倉斉加年
小林稔侍
倍賞千恵子

平井恭一(少年期)
平井恭一(幼年期)
酒屋のおやじ
平井雅樹
板倉正治
荒井健史
ユキ
荒井康子
平井恭一(平成)
荒井軍治
布宮タキ(平成)